



三瀨保育園 園だより

December 2022



足元でサクサクと音を鳴らす落ち葉や頬をさす冷たい風に少しずつ冬の訪れを感じる頃となりました。子ども達は落ち葉を拾い集めてはままごと遊びしたり虫の棲みかを作ってあげたりと色々な遊びを展開していますよ。

先日は、親子バス遠足で熊本市動植物園まで足をのびしました。久しぶりの遠足に子ども達は後日、動物を見たこと・遊戯施設で遊んだこと・お弁当を食べたことなど沢山のことを嬉しそうに話していました。また、保護者の皆様にも、子ども達が友達と楽しく遊ぶ姿や、バスの中で積極的に参加する様子を見て嬉しかったなど沢山の感想をいただきました。まだまだ制限がある中での行事ではありますが、親子バス遠足を遂行できたことを嬉しく思います。

また、今週は、からこま座の観劇がありました。演目は子どもたちがきめました。一人ひとりが一票投じ、開票作業をして結果は、人気の高かった「ブレーメンの音楽隊」「ころり転げた木の根っこ」の2作品になりました。自分達で決めたものだから、より興味津々。普段とは違う保育室で魅入るようにお話の世界に入り込んで観ていましたよ。お話の内容についてはぜひ子ども達に聞いてみてくださいね。

さて、今月半ばにはお遊戯会があります。保護者の皆様におかれましてはお忙しい中での衣装づくりありがとうございます。子ども達は少しずつ出来る衣装に期待を膨らませとても楽しみにしています。本番では、手作りの衣装を着て頑張るとそれぞれに意気込んでいますので、どうぞ温かい盛大な拍手をお願いいたします。

市内では、日に日にコロナの感染者数も増えてきています。手洗い・うがいなど感染予防に努めて元気に過ごしていきたいですね。

名頭園 弥生

クラス目標 ~1か月大切にしたいこと~

たんぽぽ組

- ・自然に触れたり十分に身体を動かして遊べるようにする。
- ・安定した生活リズムの中で心身ともに健康に過ごす。

もも組

- ・寒い時期でも身体を十分に動かし、元気に過ごす。
- ・お遊戯会の練習に喜んで参加しお遊戯会を楽しむ。

ばら組

- ・散歩に出かけたたくさん歩いたり運動遊びをしたりして思いきり体を動かすことを楽しむ
- ・簡単な身の回りのことを自分でしようとする。

うめ組

- ・お遊戯会の練習を楽しみながら意欲的に取り組む。
- ・冬の空気や自然を通し、季節を感じながら過ごす。

すみれ組

- ・友達のアイデアの面白さに気づき、イメージを共有して遊ぶ。
- ・この時期ならではの遊びや行事の雰囲気や友達の保育者と一緒に楽しむ。

ゆり組

- ・友達と共通の目的に向かって取り組む楽しさを知り、やり遂げる充実感を味わう。
- ・気候の変化や季節の移り変わりに気づき、体調の管理をしようとする。



12月の行事予定

2日 (金)	衣裳締め切り	27日 (火)	お誕生会
5日 (月)	発心公園 (ゆり組)	28日 (水)	保育納め マルシェ (14時~) (対象:ゆり組)
12日 (月)	不審者対応訓練 お弁当の日	身体測定: 26日(月)~28日(水)	
17日 (土)	お遊戯会		※ 1月4日(水) 保育始め

保育園 2階保育室

ごっこ遊びから買い物体験へ ～すみれ組～

「親子バス遠足楽しみだね！」「遠足っておかし持っていくよね！」
「何持っていく？」「いつもお母さんと買いにい！」
「ねえ、みんなでお菓子買いに行く??」

そこから準備スタートでした。100円は10円が何個、10円は1円が何個必要か、など表やおもちゃのお金を見ながら考えました。最初は困惑していた様子でしたが、おもちゃのお金を動かしながら楽しく学んでいきました。

次に保育者が用意したのは、値段付きのお菓子の写真。32円のお菓子を購入するには、10円が〇枚と1円が〇枚必要かな？最初は戸惑いながらもごっこ遊びの中で「10円足りません」「1円多いです」と会話をしながら学んでいきました。友達と会話をし始めると、少しずつ分かり、お菓子を買ったりお釣りを渡したり等がだんだんスムーズになっていきました。

次は実際にお買い物へ。子ども達は100円をポーチに入れ『秀しやん屋』へ行きました。100円で買える分を自分で考え、自分でお支払い。簡単そうでとっても難しい。お菓子も沢山あるし、金額がばらばら。でも、そこは友達の力も借りて解決に導きます。お店の方にも実際にレジを通してもらいお菓子をゲットしました。数に関心を持ち、自分で考えてみる。きっと子どもの脳を存分に刺激したのではないのでしょうか。

きっかけは「親子バス遠足」。「遠足っておやつ持っていくよね」という誘い言葉から、子ども達と社会に出てリアルな体験に結び付けました。

子ども達は普段自分達が経験したり見たりしている日常のことを遊びに取り入れ、その遊びから学んでいきます。例えば、「ままごと」。お家での家族の様子を真似ることから遊びが始まっていきます。「まねぶ」は「まなぶ!」。だから、今回も遠足から始まり、おやつに飛び、お買い物に結び付けました。

子ども達のごっこ遊びは今バリエーションが増えています。



消火避難訓練 ～with 消防士～

11月21日、一年に一度だけの消火避難訓練。消防士さんとポンプ車が来園して、子ども達と一緒に水消火器を使っただけの消火活動も体験させていただきました。

消火器の訓練は勿論職員向けではありますが、実際に火事を目の前にすると慌ててしまうこともあるかもしれません。年に数回は消火器の扱い方を確認することも大切だと改めて感じました。

これからますます乾燥する季節、そして、ストーブなどの暖房器具を扱う季節。ご家庭のどこに消火器があり、扱うことができるか家族で確認することも大切かもしれませんね。消火器の合言葉は「ピノキオ」。

①ピンを抜く ②ノズルをとる ③距離をとる ④レバーを押す



ゆり組 発心公園へ ～with 発心保育園のお友達～

昨年度より『循環』をテーマに、様々な活動をしているゆり組。これまでも近隣のごみ拾い、廃材を使った製作をしたり、コンポストをやってみたりしてきました。

この4月からは久留米市役所の職員の方や、環境活動に取り組む外部の方にも伴走していただきながら進めています。はじめは三潞の自然について知る事から始めたのですが、12月には少し遠出して他の地域の自然について比較することにしました。田主丸にある発心保育園の子どもたちと交流をしながら、その近辺を散策して色々教えてもらおうと思っています。普段から何よりも虫が大好きな子ども達。用水路や田んぼ、ハヤニシ公園では思う存分生き物探索をしてきましたが、田主丸の自然を教えてもらう時、子ども達はどんな表情でどんなことを学んでくるか楽しみです。